

現行の都市像について

『北方圏の拠点都市』

札幌が国際平和、人権、地球環境問題に関する取り組みなど世界の都市の一員としての責任と役割を分担しながら、北海道の発展に中心的な役割を果たしていくためには、政治、経済、技術、文化などさまざまな分野における創造的な都市活動と国際交流を活性化し、北の拠点都市としての機能を強化していく必要がある。

このため、今後とも高度な都市機能の集積や独自の文化の醸成を図るとともに、北方圏の先導的な都市としての役割を担いつつ、東アジア諸都市等との交流を一層促進し、国際的な相互理解を深め、国際平和の実現に寄与していく。

『新しい時代に対応した生活都市』

札幌が生活都市としての機能と魅力を高めていくため、安全で安心できる暮らしの確保を図った上で、自然と調和したまちづくりや個性ある地域づくりなど市民の参加による愛着心の持てるまちづくりを進める。また、環境への負荷の低減に努めながら都市機能の高度化や力強い産業の育成を進め、活力ある都市活動を維持する。

さらに、ゆたかな都市文化を形成するとともに、市民の創造性の伸長・発揮のための環境を整備し、市民の創意と主体的な活動によって支えられ、市民一人ひとりが生きいきと暮らせる生活都市を実現していく。

「札幌市基本構想」(平成 10 年 2 月 25 日議決)より

1 都市像の内容について

- 「北方圏の拠点都市」→市域を越えて役割を果たすこと
～「世界の都市の一員」「北海道の発展に中心的な役割」
- 「新しい時代に対応した生活都市」→都市の機能を高めること
～「生活都市としての機能と魅力を高める」

2 都市像の課題について

- 社会経済情勢の大きな変化を受け、価値観の転換が必要な項目がある
～「北方圏の拠点」「時代に対応」
- 行政計画から市民計画への転換を受け、市民目線の表記が必要な項目がある
～「確保」「育成」「整備」

3 都市像の見直しについて

- 市民目線の都市像や、パラダイムの転換に対応する都市像が必要
- 過去の審議会においても、現行の都市像を見直すべきとの意見が多数



ビジョンの中で新たな都市像を設定する